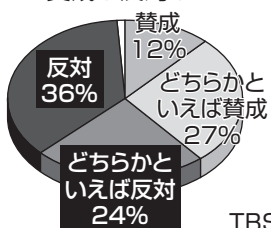


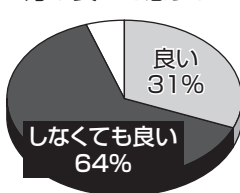
消費税10%ストップ

民主、自民、公明は消費税増税と社会保障大改悪の「一体改革」法案を衆院で採決することに合意しました。民意と公約に背く暴挙です。

消費税引き上げに賛成か反対か



今国会中に成立した方が良いと思うか



TBS世論調査(6月9、10日)

消費税増税には、どんな世論調査でも5～6割が反対です。民主党の政権公約の目玉だった最低保障年金の導入、後期高齢者医療制度の廃止は投げ捨て、4年間は上げないと言っていた消費税は増税。「やる」と言っていたことはやらず、「やらない」と言っていたことはやる—ひどい公約破りです。



「こんな時に消費税10%とんでもない滋賀県民集会のパレード」3日、大津市

3党合意では低所得者対策などが削除され、13兆円の大増税だけが残りました。

社会保障の解体にルール

3党が合意した「社会保障制度改革推進法案」は、まったくの新材。自公政権時代の「構造改革」路線を法律にして、社会保障の解体にレールを敷くものです。

こんな重大な法案をどさくさまぎれに出し、審議もせず採決するなど議会制民主主義の破壊です。

消費税に頼らない別の道があります

日本共産党は、消費税増税に反対するだけでなく、それにかわる財源を示す抜本的対案を発表しています。聖域なくムダを削減し、①富裕層、大企業ばかりが優遇される今の税

制をただし、能力に応じて負担する税制に大改革して社会保障をよくする、②国民の所得をふやし経済を立て直す—この2つの改革を同時並行で進めます。

「一体改革」採決強行を許すな

民意・公約に背く暴挙